

## ■目次

### ■平成28年第3回定例会【9月】

平成28年度一般会計補正予算	2
平成27年度歳入歳出決算の認定	3
提出議案	4
監査意見書（要約）	4
議案に対する主な質疑	5
一般質問	6～12

### ■議会の動き

13

### ■委員会活動報告（行政視察）

14～15

### ■議会だよりギャラリー

16



## 老人クラブ連合会スポーツ交流大会

10月14日（金）、大川ふるさと公園コミュニティセンターにおいて、第31回下郷町老人クラブ連合会スポーツ交流大会が開催されました。町内の老人クラブ19団体386名が参加し、各種競技で熱戦が繰り広げられました。

※写真は玉入れ競技（落合親楽会）

### 総合成績

優勝	白藤会（白岩）
準優勝	湯野上親老会
第3位	中妻老人会
最高齢者賞（男性）	
星 一さん（94歳）	三ツ井
最高齢者賞（女性）	
渡部チカ子さん（91歳）	塩生



# 会

9月9日から16日にかけて9月定例議会が開かれました。  
平成27年度決算の認定や条例、平成28年度補正予算など町  
提出議案12議案は全て可決されました。  
また、一般質問では7名の議員が登壇し町政を質しました。

## 平成28年度一般会計予算 9,456万8千円の追加補正

### 平成28年度一般会計補正予算（9月補正）

#### ◇歳入の主なもの

社会保障・税番号制度システム整備費補助金	2,101千円
東北観光復興対策交付金	3,695千円
地方交付税	179,869千円
前年度繰越金確定額	110,051千円

#### ◇歳出の主なもの

社会保障・税番号制度システム整備委託料	3,346千円
プロモーション強化事業委託料	4,619千円
下郷観光循環バス委託料	2,531千円
簡易水道事業特別会計繰出金	2,749千円

下郷観光循環バス委託料について多くの質疑（P5参照）が出され、採決前には、各議員から反対討論、賛成討論が行われました。また、採決は無記名投票による決議となりました。

#### 【賛成討論】

##### □ 湯田健二議員

本来、予算というものは当初予算で行い、緊急の場合や事業費の整理などを補正予算で行うという観点から、今回の補正予算(案)で問題ないと思われるので賛成する。

#### 【反対討論】

##### □ 湯田純朗議員

下郷観光循環バス委託料について、制度設計ができていないのか、何を目的としているのか、どういう効果があるのか、見切り発車ではないかという点で疑問がある。  
もっと慎重に進めるべきという観点から、本補正予算(案)に反対する。

#### 【動議の採決】

3名以上の賛成により  
無記名投票の動議が

**可 決** (※1)

#### 【動 議】

補正予算(案)の採決を  
無記名投票で行う  
動議が出される

※1 会議規則により、投票による表決は3名以上からの要求で可能となります

採決】

# 9月定例

## 平成27年度の成果を認定

一般会計  
歳出総額 **43億円**

特別会計  
歳出総額 **21億円**

残ったお金（歳入－歳出）  
一般会計＋特別会計  
**4億6690万円**

28年度の特定の事業へ 1732万円  
基金へ積み立て 1億7050万円  
28年度に繰り越し 2億7908万円

決算の認定は、町から提出のあった決算書・事務報告書・監査委員の意見書（P4参照）により、各事業等の成果が審査されました。

### 【質疑】

大内宿保存修理事業補助金や未収住宅使用料対策などの質問がだされる（P5参照）。

### 【動議】

大内宿保存修理事業補助金について、集中的な審議が必要なため、議会全員協議会に切り替えて審議する動議（※2）

### 【動議の採決】

賛成少数で  
**否決**

### 【決算認定の採決】

全議員“異議なし”で決算を認定することに  
**可決**

※2 本会議の中で、議案等に対する質疑は一人三回までと会議規則に定められていることから、議員の過半数の賛成があれば、回数制限のない議会全員協議会で審議することが可能となります。

### 【議案の採決】

賛成多数により  
原案どおり  
**可決**

### 【投票結果】

賛成	反対
7	4

※議長は採決に入りません

【無記名投票】

## 提出された主な議案

### 【町提出議案】

- ▼27年度下郷町健全化判断比率等について
- ▼27年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について
- ▼専決処分の承認〔28年度一般会計補正予算（第2号）〕
- ▼専決処分の承認〔28年度一般会計補正予算（第3号）〕
- ▼専決処分の承認〔28年度簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）〕
- ▼下郷町携帯電話基地局の設置及び管理に関する条例の設定
- ▼下郷町ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部改正
- ▼28年度一般会計補正予算（第4号）
- ▼28年度特別会計補正予算（4件）

## 決算の結果に対する監査委員の意見(要約)

### 【総括】

いずれの会計も決算額は関係諸帳簿等と合致しており、決算係数は正確であると確認した。

厳しい財政状況の中、町税等の自主財源の確保など安定した財源の確保に努め、常に「費用対効果」を念頭に事務事業を見直す姿勢を持ち、限られた予算で最大の効果を発揮され「美しく輝く・笑顔あふれる交流のまち」が実現されるよう期待するものである。

### 【経常収支比率について】

一般会計、特別会計を含めた単年度収支は、前年度に比し大幅に増加している。また、財政の弾力性を示す経常収支比率も前年度から改善が見られた。

### 【未収住宅使用料対策について】

住宅使用料については、多額の滞納額になっており滞納者、滞納額とも増加傾向にある。近隣町村では、住宅使用料の滞納者に対し、訴訟も視野に入れた民事調停の申立てを行っている。これは「滞

納は許さない」という町の断固たる姿勢を示すことであり、滞納額の減少、新規滞納発生の抑止力として大きな効果が期待できるものであるため、「時期を失うことなく」進めていただきたい。

### 【町の補助制度について】

大内宿保存修理事業補助金について、国庫補助金が減額された事実があったため、事業実施方法を再検討し、今後、このようなことがないよう十分に注意していただきたい。



職員への決算監査講評を行う  
渡部代表監査委員と星監査委員

# 議案に対する主な質疑

## ▼平成27年度 決算の認定

◆大内宿保存修理事業補助金

**問** 2件の保存修理事業の国庫補助率が異なっているがどうか。

**答** 事業完了後、文化庁調査官が現地指導に入り、業者とも意識が低すぎることで、家主の自由にしていいわけではないこと、再度事業内容を精査するように等の指導があり、工事内容の数量に差異があったためである。

**問** 事務的な問題ではないのか。また、国の補助金減額分を町で補填したとなると町民の税金からということになる。施主に返還を求めなくてもいいのか。

**答** 補助金交付要綱に基づき10分の9を補助したが、結果として国との基準に

差異が生じたことは申し訳なく思っている。また、町としては施主への返還は求めないこととした。

**問** 実際に行われた図面と国に出した図面と異なる二つの図面があると聞いているが本当のことを教えてほしい。

**答** 実際に決裁として行った分としては今回監査で指摘を受けたとおりで、大変遺憾であると思っているのをご理解いただきたい。

◆未収住宅使用料対策

**問** 監査意見として昨年度も同様の意見が出されているが、昨年から今年にかけて、どのような行動をとってきたのか。

**答** 昨年度、1名の悪質滞納者の退去実績が図られ、今後も法的手段も視野に入れ、連帯保証人の確認など

の書類整備をしながら、法的手段による明渡し訴訟が可能なのかどうか作業中である。

## ▼平成28年度補正予算

◆下郷観光循環バス委託料

**問** どのような事業内容なのか。

**答** 来年4月下旬に東武特急が会津田島駅まで乗り入れる契機に、二次交通の確保を図るものである。観光客にとって便利で訪れやすい環境を整えるため、公共交通

いるようである。議会の予算が通っていないのに、議会軽視ではないか。

**答** 許認可、チラシ作成は会津バスが行ったもので、議会軽視ではない。

**問** 会津鉄道の減収につながると思われる、その赤字分は町民の税金にもつながってくるが、そのようなことを総合的に考えているのか。

**答** これまで列車に乗らなかった方にも乗っていただくという考え方のもとで進めており、会津鉄道の減収にはつながらないと思っ

◆渇水対策について

**問** 夏の水不足で、栄富簡水が渇水し、町職員がタンクで水を運び大変だったと思うが、道の駅も水不足で、町職員が役場裏からタンクに水を汲み、道の駅に運んでいたようだが、この分の水道料を徴収しているのか。

**答** 町職員が携わっているという事実は把握しておらず、水道料も徴収していない。

**問** 実際に建設課職員が運んでいるところを見ている。町の出資はあるものの、民間会社と同様の扱いをすべきではないか。

**答** 以前の水不足時に役場運んだ経緯があるが、水道料は徴収していなかった。今後時間をいただいて十分に検討していきたい。

**問** 既にチラシが出来上がっており、陸運局の許可も受けて



下郷町観光循環バスのチラシ



# ここを問う

町政

## 玉川邦夫議員の 一般質問

質問

町民の声をどう取り上げ  
町政に活かすのか

答弁  
住民本位の自立した  
町づくりに向け座談会を

問

「役場近くの国道の環境整備はどうなっているのか。美しい町づくりを掲げているのに、お盆になっても沿道の草木は伸び放題。『国道だから県がやってくれる』と思う人がいたら悲しいことだ。」という町民の声があるが、町長はこの声をどのように感じられたか。

また、他町村では座談会やパブリックコメント方式をとるなどしているが、町長は、

質問

地方創生有識者会議の  
進捗状況は

答弁  
雇用創出の観点から  
企業誘致について協議

問

町の人口ビジョン及びまち・ひと・しごと総合戦略の施策に、人口維持を  
目指した「地方創生有識者会議」を立ち上げているが、そ

答

今年度は有識者会議を  
二回実施し、雇用創出

の進捗状況はどうなっている  
のか。



草木が生い茂る国道289号線の歩道

町づくり構想のために広く住民の声を聞く座談会を持つ考えはあるか。

住民や各種団体に協力を呼びかけていきたい。

問  
これまででは多くのボランティア団体の協力を得てきたが、昨今は活動が滞ってしまい、除草も追いつかない状態である。今後は、近隣

また、行政と町民のそれぞれの責任・役割を自覚しながら、協働精神のもと、住民本位の自立した町づくりとしていくためにも、直接声が聞ける「集落座談会」などを検討している。

質問

会津縦貫南道路に伴う  
町内の路線整備構想は

答弁  
計画的にアクセス、  
拡幅工事を推進する

問

会津縦貫南道路の開通  
とともに重要なものが、  
町内の道路環境やアクセス道路整備を並行して進めていくことだと考える。

答

今後10年の道路整備計画は、現在実施中の落

住民は「塔のへつりがより安全でバスも通りやすくなった」、「戸赤方面の道路も良くなり観光客が多くなった」といった身近な道路整備を望んでいるが、町の今後10年間の整備構想はどうなっているの

合音金線、張平沢入線小松川地区の一部拡幅の完了及び橋梁長寿命化計画としての改修完了が見込まれている。また、国道道改良に伴う町道のアクセスについても路線計画が示された時点で可能な限り利便性を考慮し対応する。



町政

## ここを問う

### 山名田久美子議員の一般質問

質問

町の自然遺産が失われる可能性があるが、どう対処するのか

答弁

関係機関等と協議するなど適切な対応に努める

問  
中山風穴の冷風の出が悪くなっている箇所がある。原因として枯れ葉など

が堆積し、風穴をふさいでいるのではないかと

塔のへつりは、がけ崩れで歩ける箇所が減少し、つり橋を渡り虚空蔵堂を見学するだけになっている。

下野街道は、板橋の破損などを見ると、メンテナンスまでは行き届いていないと思われる。

「文化は自然に育まれるというが、文化によって維持される自然もある」といわれるが、このままでは、下郷町の貴重な自然遺産が失われる危険性がある。

町長は、この状況をどう考え、今度どう対処されるのか

答

中山風穴は補助事業により指定地上部や指定地内の試験伐採等を実施し、堆積物の減少に努めてきたが、

結果として大きな改善が見られなかったが、その後も単独で定期的に除伐を実施し、冷風効果減少の防止に努めている。

塔のへつりは、大川羽鳥県立公園内に防護柵や手すりの設置など、現状変更は認められていないが、今後、関係上部団体と協議しながら改善を図っていきたい。

下野街道については、今年度現地を確認する予定で、確認後計画的に整備を進める。

本町は、豊かな自然を有し、多くの観光客が訪れる大きな要因となっており、文化財の

質問

観光振興施策は今後どのように展開するのか

答弁

自然や各種体験など観光資源の磨き上げを図る

問

大型キャンペーンのアフターDCが終了し、観光客数は、スポーツ・レクリエーション関係では減少が大きく、登山など自然を体験で

保存、保護は重要と考えている。今後も関係機関等と協議するなど適切な対応に努めていきたい。



バリケードが張られている塔のへつり

きる地域を訪れる観光客が増加していると県は総括している。

山に囲まれ、自然豊かな下郷町としては、どのように総

括し、今後どのように展開していくつもりなのか町長に伺う。

答

下郷町は前年対比99%となっており、町の総括としては、町観光協会の風評被害対策、町商工会委託の着地型ツーリズム推進事業等の相乗効果の表れと分析している。

今後の展開については、観光振興対策の継続に加え、本町の恵まれた自然や、各種の体験にスポットを当てた新たな観光資源の磨き上げを図っていきたく考えている。

その事業として、東北観光復興対策交付金を財源とするプロモーション強化事業や、町の観光地を循環する観光循環バスの運行を今回の定例会に補正計上している。

また本年度、大峠林道の中腹にある会津藩「有賀左司馬戦地」までの遊歩道整備を計画しているところである。



町政

## ここを問う

### 佐藤盛雄議員の 一般質問



佐藤盛雄議員からは、町選挙管理委員会に対する質問が行われたため、選挙管理委員会の佐藤和衛委員長が出席し、一般質問に対する回答が行われました。

質問

学生の選挙権について選挙管理委員会ではどのように考えるのか

答弁

議員 選挙管理委員長

国会の場で大いに議論すべきものと考えている

問

公職選挙法の一部が改正され、選挙権を有する年齢が20歳から18歳に引き下げられ広く政治参加する機会等の拡大が図られた。

一方、18歳以上の大学等に通う学生は、住民票を異動させず、他の市町村に生活している実態が大多数であり、この場合の学生は当該市町村における選挙権は発生せず、選挙権がないことになる。

当町は、各地区の行政区長

を通じて、その実態を調査し正確な把握に努めているが、各市町村によって異なっており、実態調査を正確に行っていない市町村では選挙権を与え、かたや下郷町では選挙権がなく、憲法に規定している法の下の平等に著しく逸脱していると考えられる。

選挙管理委員会としては、このような状況をどのように考え、また、会議の中でこのことを議題にする考えがあるのか伺う。

答

当町は、学生の調査が可能な人口規模であり、法令遵守のうえで現在のような調査をしており、公職選挙法の違憲性などは立场上答弁しかねる。

当委員会としてこのような問題が発生していることは承

質問

多目的交流施設の測量試験は地権者の同意は得られているのか

答弁

議員 町長

説明会を実施し同意を得て業務委託を契約している

問

湯野上地域整備の一つとして、多目的観光交流施設の測量試験費が平成27年度予算から繰越事業で行われているが、進捗状況はどのようなになっているのか。

また、測量試験を行う場所は、3月定例会では明確な回答が得られなかったが、どこに決定され、地権者の同意や地域の合意等の問題はクリアしているのか。

答

湯野上地域における交流拠点となる多目的交流施設の現地測量、用地測量は、既に地権者に説明会を

知しているが、あくまでも公職選挙法を遵守し、粛々と選挙事務を進める立場にあり、このような問題は国会の場に

おいて大いに議論されるべきと考える。従って、当委員会の議決権限の範疇を超えた内容を議題とする考えはない。

施し、全員から同意を得て業務委託を発注し契約している。測量箇所は民宿紫泉の東側から会津鉄道の線路に至る農用地を候補地として測量を行うこととしている。

今回は基本計画策定のための測量と位置付けており、具体的なデザイン等が出来次第、地域住民に説明会を実施する予定である。

地質調査は、温泉配管の確認や源泉への影響などを考慮し、関係者等と協議を進めながら候補地を選定し実施していきたいと考えている。



## ここを問う

### 星 輝夫議員の 一般質問

#### 質問

移住・定住対策に向けた  
施策に対する町長の考えは

#### 答

住環境の充実に向けて  
必要な施策を実施する

#### 問

移住者獲得を目指す全  
国の各自治体で「お試し  
移住」制度があるが、真剣  
に移住者獲得を目指すなら一  
考の価値があるがいかがか。

#### 答

をすべきと考えるが町長の考  
えを伺う。

「お試し移住」に関し  
ては、多くの自治体で  
採用し効果的であると考え、  
先進事例を参考に、例えば移  
住体験ツアー、オンラインガル  
テンを活用した定住対策等に  
ついて検討していきたい。

また、移住してきている方々  
からの聞き取り調査による情  
報発信や、移住相談窓口の設  
置、補助金制度の創設など、  
移住者獲得に向けた施策展開

#### 質問

子供、若者、高齢者のためになる  
住宅改修補助金の検討を

#### 答

関係法令等を遵守しながら  
慎重に検討していきたい

#### 問

町内観光関連産業に携  
わる小規模の持続的な  
事業者の住宅改修に対して補  
助金を交付するようだが、少  
子高齢、若者の定住などの問  
題を抱える我が町にとって、  
もっと多くの町民が喜ぶよう  
子供が、若者が、そして高齢  
者のためになる住宅改修への  
補助金を検討してみたいか

#### 答

第5次下郷町振興計画  
に掲げている住みよい  
生活環境づくりの主な施策で  
ある定住促進支援策、空き家  
対策等に即し、現行の助成事  
業を考慮し、関係法令等を尊  
守しながら慎重に検討してい  
きたい。

#### 質問

特急スパーシアを  
湯野上温泉駅まで

下郷区間は電化されておらず  
クリアすべき諸課題が多い

#### 問

特急スパーシアが来春、  
会津田島駅まで延伸に  
なると報道があった。

列車で移動する来訪客は、  
マイカー族に比べると滞在時  
間が長く、宿泊地の確保、移  
動手段の必要化など、経済的  
波及効果が期待できる。

「浅草発、湯野上温泉駅」  
を提案するが、町長の考えは  
いかがか。

#### 答

今回の東武鉄道からの  
乗り入れは、電化され  
た軌道を行く電車として  
会津田島駅まで乗り入れとす  
るため、電化されていない区

の多様化、内容の充実が必要  
と考えている。  
移住相談窓口の設置につい  
ては、担当者を設置しながら  
やっていきたい。



2017年春  
東武鉄道新型特急

会津鉄道 会津田島駅(南会津)  
乗り入れ決定!

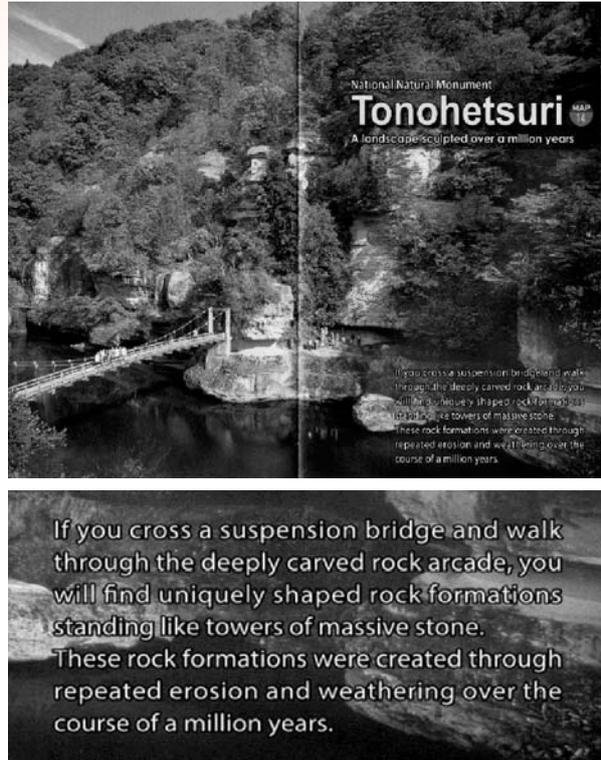
間の運行については、技術的  
な面や会津鉄道との接続体制  
と様々な制約が考えられる。  
下郷延伸についてはクリアす  
べき諸課題が多くあるためこ  
理解願いたい。



## ここを問う

町政

### 猪股謙喜議員の 一般質問



英文化された下郷町パンフレット(塔のへつり)

質問

外国人受け入れの  
インバウンド対策は

答弁

広域連携による  
多言語のパンフレットを作成

問

下郷町への東京オリン  
ピックパラリンピック  
の選手団の誘致をすべきと思  
うかどうか。

答

選手団の練習受け入れ  
施設としては下郷町コ

ミュニティセンターがあるが、  
競技として受け入れられそう  
な種目の卓球、バドミントン、  
バレーボール、テコンドーの  
応募要項を照合すると、練習  
施設にはI F基準（各国国際競  
技連盟の基準）と呼ばれる競

問

技ごとの基準があり、この基  
準を満たすことが応募要件と  
なる。練習用具などが指定さ  
れ、照明や空調設備など多く  
の部分で練習設備としての基  
準を満たしていないため、現  
状での誘致は難しいと考える。

コミュニティセンター  
は、ふくしま国体時に  
建てられたものであり、そも  
そも国際規格に適応したもの  
ではないが、国内の大会にお

答

各種大会等で使いやす  
いようにすることは当  
然のことであるので、十分な  
検討をさせていただきたい。

問

パラリンピックにおい  
ては、バリアフリー化  
を促進しなければならぬ。  
バリアフリー化により障がい  
者だけでなく今後迎える高齢  
化社会にも対応することにな  
り、他の観光地との差別化も  
図られる。パラリンピック選  
手団の受け入れは、外国人誘  
致のみならず、人にやさしい  
観光地として全世界に発信で  
きるようになるが、町長の考  
えを伺う。

また、事業者の施設に対す

答

本年度実施している下  
郷町観光関連施設等改修支  
援事業補助金が利用できるの  
か。

問

本年度実施している下  
郷町観光関連施設等改  
修支援事業補助金は、インバ  
ウンド対策としての事業でも  
あるので是非活用していただ  
きたい。

答

広域連携による多言語  
のパンフレットの作成  
や外国人対応のマニュアル作  
成を計画している。英文によ  
るホームページの作成は、外  
国人に有効な手段であり検討  
する。また、東京オリンピッ  
クや東武鉄道の特急乗り入れ  
を見据え、外国人の誘客に取  
り組んでいる。



## 町政 ここを問う

### 湯田純朗議員の一般質問

#### 質問

姫川住宅建設はいつから始まるのか

#### 答弁

来年度から2か年事業で実施予定

#### 問

今年度の当初予算で計上されている公営住宅建替事業の姫川住宅（落水団地）は、一番老朽化した住宅で居住環境も悪化しているこ

とは承知しているが、いつから始まり、土地は今までおり賃貸借とするのか、買収するのか。

また、設計段階に入っているようであるが、先に用地取得した定住促進住宅でなく落水団地の建設となるのか。

さらに住宅使用料が約6千万円の滞納額となっているが、新しく建替えをして住宅使用料の設定を行った場合、現在の使用料を滞納している方は払えるのか。

#### 答

姫川住宅の建替事業に關しては、来年度から2か年での事業で、土地は借地で建設する予定である。定住促進住宅に關しては、基本計画を進める過程で隣接する県道との高低差の關係から、1 mほどの盛土が必要と

#### 質問

早期に小学校統廃合に向けた検討が必要ではないか

より良い教育環境のあり方を慎重に検討していく

#### 問

町内の小学校校舎は、今後、老朽化、改修工事という大きな経費の支出が伴うこととなるが、年々地方財政が困難となる中、早期に小学校の統廃合を進めなければならぬと考えるが、その計画はあるのか。

#### 答

学校施設だけでなく他の公共施設でも維持管理費の増大が共通の課題であり、下郷町公共施設等総合管理計画を策定中で、この計画により公共施設等の全体を把握し、長期的な視野で維持管

なり、現在、他事業の残土により盛土を行っているところであるが、まだ完成していないところである。住宅使用料については、あ

くまでも低所得者に提供する住宅であり、滞納はつきまとうかもしれないが、努力をして徴収の成績をあげることとしたい。

理に努めていきたい。

また、学校は一定の児童数を確保することが望ましいとされているが、統合は、地域コミュニティの衰退につながり、子供の環境の変化や通学距離延長などの負担が大きくなることを考慮する必要があらう。

一律に統合を進めるのではなく、小さな学校でこそその長所を活かし規模に応じた工夫をし、将来の児童数を予測しながらより良い教育環境のあり方について慎重に検討していく。

#### その他の質問

質問 塔のへつり踏切付近急勾配道路の改良を

答 弁 用地買収が可能であれば実施していきたい

質問 企業立地促進条例の見直しを

答 弁 今後、必要な施策を講じていく

質問 空き家での事故防止のための町の対策は

答 弁 除去や修繕などの指導を徹底する

#### 問

小さな学校だと人間形成も小さな形成になつては仕方がない。コミュニティであれば小さな学校でもよいが、教育の平等を考えるとそればかりではいかず、集団生活ができるようにするため子供の環境を整えることも必要ではないか。

#### 答

十分に理解しながら慎重に検討していきたい。



## ここを問う

町政

### 小椋淑孝議員の 一般質問

質問

消防団員の費用弁償を  
近隣町村並みに

答弁

近隣市町村にあうべき  
予算計上を検討していく

問

町内消防団の団員が出  
動した際の費用弁償は、

ずしも休みではない人も多く  
なっており、これからの若者

条例で一回2200円、町外  
者遭難の捜索で10000円  
と定められているが、南会津  
町は4200円、只見町は6  
000円、檜枝岐村は840  
0円であるのに対し、非常に  
安価ではないか。近年では働  
く形態も様々で、日曜日が必

質問

町職員の募集は「若干名」でなく  
「何名以内」にすべき

答弁

他の町村も調査し、今後は  
はつきりさせていきたい

問

町職員の募集人数は、  
毎年「若干名」で募集  
しているようだが、若干名で  
は受ける側も何人採用される  
のかも分からず、せめて「何

答

専門職の場合は募集人  
数を入れるが、一般職

人以内」とした透明な募集が  
必要ではないか。



10月16日 町消防団秋季検閲式の様子

はこの町村も入れていない  
と思うが、よく調査し、募集  
人数もはつきりさせるように  
していきたい。

が加入しやすい環境整備とし  
て、仕事を休んだ分を補填す  
るといった町の精神が必要で  
はないか。

答

消防団員の費用弁償は  
条例に基づき支給して  
いるが、団員の高齢化に伴い、

退団者が増加、入団者の減少  
と団員確保が難しくなってい  
る現状や、郷土愛護の精神を  
持つて参加し、地域の消防防  
災活動に従事していることな  
どを考慮し、近隣市町村にあ  
うべき予算を計上するよう検  
討していく。

質問

毎晩のように職員が残業してい  
るが、サービス残業ではないか

答弁

命令行為がなされたものは適正に  
処理されている

問

毎晩のように職員が残  
業しているのを見るが、  
町予算の超過勤務手当の額は  
さほどでもないように思われ  
るが、サービス残業ではない  
のか。

問

職員が命令を受けずに  
勝手に残業をしており、  
ちゃんと管理されていないの  
ではないか。

答

超過勤務手当は、係長  
が命令簿に記載、それ  
を担当課長、総務課長が決裁  
し発生するものであり、命令  
がなされた超過勤務について

答

総務課長の決裁で超過  
勤務はできることになっ  
ており、きちんと処理がなさ  
れ、基準どおりにやっている  
と信じている。

# 議 会 の 動 き

## 定例会の日程が6日間に

議会運営委員会 8月12日(木)

平成28年6月定例会において、一般質問数が9名であったことを踏まえ、今後の議会日程のあり方について議会運営委員会にて協議が行われ、一般質問者数が多い場合を想定し、定例会日程を5日間から6日間とすることとしました。

### 【これまでの定例会の日程】

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
開 会 (提案理由の説明)	休 会 (議案思考)	休 会 (議案思考)	一般質問	議案審議

### 【今後の定例会の日程】

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
開 会 (提案理由の説明)	休 会 (議案思考)	休 会 (議案思考)	一般質問	一般質問 (※1)	議案審議

※1 一般質問の2日目は一般質問者数が多い場合とし、一般質問者数が少ない場合は休会（議案思考）

○ 定例議会の開会日は、町長の告示によって決められることとなります

## 予算特別委員会の設置へ

議会全員協議会 9月9日(金)

平成28年9月定例会1日目の本会議終了後、当初予算審議の在り方について協議が行われました。これまで当初予算にかかる審議は、一般会計と宅地分譲事業特別会計は総務文教常任委員会に、それ以外の特別会計は産業厚生常任委員会にそれぞれ付託されて審査が行われてきましたが、議員全員で審査すべきとの声があり、協議の結果、平成29年度予算の審議からは、予算特別委員会を設置して付託審査が行われることになりました。

### こ れ ま で

- ◆◆◆ 総務文教常任委員会 ◆◆◆  
(議長を含む6名で構成)
- 一 般 会 計
- 宅地分譲事業特別会計

- ◆◆◆ 産業厚生常任委員会 ◆◆◆  
(副議長を含む6名で構成)
- 国民健康保険特別会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 介護保険特別会計
- 簡易水道事業特別会計
- 農業集落排水事業特別会計

### 今 後

- ◇◇◇ 予算特別委員会 (仮称) ◇◇◇  
(全議員または議長を除く11名の議員で構成)

- 一 般 会 計
- 国民健康保険特別会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 介護保険特別会計
- 簡易水道事業特別会計
- 農業集落排水事業特別会計
- 宅地分譲事業特別会計

総務  
文教

地方創生事業、ふるさと納税、移住施策  
などの取り組みを視察

総務文教常任委員会では、9月26日から28日にかけて、大学連携による創生事業の状況、ふるさと納税のあり方と多様な可能性、移住施策により人口減少対策の状況など、それぞれの先進地の状況及び伝統的建造物群保存地区の保存状況等を研修しました。



東京理科大学からの説明を受ける様子

北海道長万部町～地方創生の取り組み

▼大学生と共に  
未来を語る

北海道長万部町は、人口約6000人、面積約310km<sup>2</sup>と本町とほぼ同規模であるが、海産物の収入、特にホタテの漁獲が約40億円に上る主要産業になっている。  
また、東京理科大が誘致されており、基礎工学部、電子応用工学部・材料工学部・生物工学部の一年生300人が学んでおり、

全員が寮生活となっているため、町にとつての経済効果も期待されている。また、大学では、廃棄物として町の課題となっているホタテの貝殻の再利用研究も行われ、町もこの研究成果に期待を寄せている状況からも、町と大学での連携が密に行われているようであった。

▼民間JTBと連携した  
ふるさと納税施策

北海道豊浦町では、ふるさと納税の仕組みや謝礼品の決定方法などを研究し、平成27年度には2,900万円以上ものふるさと応援寄付金を得ていた。

北海道豊浦町～飛躍的な納税額

豊浦町のみでなく、北海道の多くの町村がJTBに事務を委託し、特産品の海産物や農産物だけ宿泊券や観光地での物品引換券などを謝礼品として、当町も参考にすべきものと思われた。

▼移住者に  
無償で宅地提供

北海道八雲町～大胆な移住政策

八雲町は、平成17年の町村合併により誕生し、人口17,311人、面積956.08km<sup>2</sup>と、当町の約3倍となっており、農業、酪農、ホタテやアワビの養殖が盛んで、これら基幹産業を活かした食品製造業、加工業も主要産業となっている。

航空自衛隊を誘致したほか、国や北海道の出先機関が集中する官庁の町であるが、人口は減少を続け、2055年には1万人未満となる推計を立てている。

そのため、移住体験ツアーなど官民一体となって移住促進の戦略を行い、平成17年から27年までで、54組、119人が移住してきた。

無償分譲による移住の促進や広報効果を利用して移住スタイルの多様化への対応を行っており、体験事業には年間延べ200日以上の実績を

有している。移住された方との交流など地域に溶け込む機会を設けるなど、移住後のサポートが行われており、町全体として活気があるようであった。

▼レンガ造りの倉庫群

北海道函館市

函館市にある国の伝統的建造物群保存地区「函館市元町末広町」の港沿いにあるレンガ造りの倉庫群（金森倉庫群）を視察した。

外観が歴史的建造物として風情のある佇まいであったが、倉庫内は全てお土産や物産品の売店となっており、外観からは想像できないほど清潔な内部となっていた。

周辺道路は石畳舗装で明治時代を思い起こさせるような景観となっていた。

産業  
厚生

地域振興対策、子育て支援策、6次産業化、循環型農業の取り組みなどを視察

産業厚生常任委員会では、8月31日から9月2日にかけて、地域振興策や子育て支援策による人口増対策、トマトの6次産業化、地域資源を活かした循環型農業など、それぞれの先進地状況を研修しました。

▼「コミュニティ」  
施策で人口増加

富山県舟橋村～日本一小さな村

富山県舟橋村は、縦横それぞれ約2kmで総面積が3.47km<sup>2</sup>と日本で一番小さな面積であるが、人口増加率が24.2%と全国2位であり、平均年齢も38歳と非常に若い特徴となっている。

若い世代の人口を増やすために、子供がいる子育て世代の転入でなく、子供を産んで育てる世代の転入を心がけており、転入後のコミュニティを大事にするよう心掛けていくとのことであった。保育所は、保育サービスの向上を図るため、民営化をしていた。

保育所だけでなく、学校やその他の公共施設を村の中央部に集中させ、通学・移動距離をすべて1km圏内に行っている工夫も見られた。

また、駅舎に併設された図書館は、赤ちゃんから年寄りまで利用できる工夫がなされており

り、隣接市町からも利用者が多数あるなど、人口3千人に對して1万8千人の年間利用登録があるとのことであった。県都富山市に隣接しているため、ベトナムという立地条件の良さを武器に、将来を見越した各種施策が参考となった。

▼廃棄していた規格外の  
トマトで6次産業化

石川県小松市のトマトは、昭和30年代から栽培が始まった歴史ある産地で、京阪神及び県内市場にトマトを提供する北陸一の産地である。

石川県小松市～JA小松

平成11年以降の市場単価下落がトマトを使った商品開発に取り組みきっかけとなり、JAが主体となって生産者のアイデアであるトマトカレーがヒット商品となった。

現在、生産者は63名、うち半数近くが若い生産者となっており、トマトの総販売額は

4億3千万で、3千万円の人もいるという。

5万食売ればヒット商品と言われる中、トマトカレーは7万食強の販売実績となり、今年度から海外輸出も始めているとのことであった。

箱詰・梱包作業等は、地域還元のためから障害者施設に委託するという工夫も行っている。

▼ゆうき・げんき  
正直農業

福井県池田町は、総面積



JA小松で説明を受ける様子

福井県池田町～循環型農業

194.72km<sup>2</sup>で、そのうち山林が92%を占め、人口2748人、高齢化率42.9%の小さな農村である。

主産業は農林業で、農業は米単作地域であったが、米価下落から自家用野菜を販売する直売所を開設することとし、「始めなければ始まらない」「はじめなければ成長しない」との声に170人を超える出荷会員が集まった。福井市のショッピングセンターに約12坪の店舗で、現在では年間約1億4千万円の販売額となっている。

作物の安全栽培へ向け、農家個々の栽培技術だけでは信頼を得ないことから、栽培基準とルール、指導体制を町独自に策定されていた。

この取り組みにより農家の生産意欲と個人所得が向上した。

# 議会だよりギャラリー

議会とまちのうごきを  
写真でレポート

## 第12回 松川街道ウォーク

10月9日(日)

12年前、村おこしでスタートした大松川区の地域活性化事業を紹介します。具体的な活動を模索していく中で、

「会津の殿様が通った松川街道を整備し、森林浴を体験しながら交流を図る場に」「おいでになった方々に、私たちからの最高の『おもてなし』で迎え入れよう」と言った地区住民の気持ちが一つになり、松

川街道ウォークが誕生し、今年で12回を迎えました。今では毎年200人を超える参加者で盛り上がる大イベントになっています。開催に向けては、街道の刈り払い作業やコースの点検、きのこ汁やしんごろうの準備などが地域一体となって行なわれています。こうした地区住民の協力体制が12年間のウォークを支えているようです。

## 私たちの おもてなし



イベント当日は、“きのこ汁”の振る舞い、“取れたての野菜”のプレゼントが行われ、郷土料理“しんごろう”も大盛況でした！



## 議事を傍聴しませんか

次回の町議会定例会は12月中旬頃に開かれます。お問い合わせは町議会事務局(69-1123)まで

### 議会広報常任委員会

委員長 猪股 謙 喜  
副委員長 山名田久美子  
委員 玉川 邦 夫  
委員 小 椋 淑 孝

農業をされる人は植物学者や経済学者に劣らない知恵と知識を持ち合わせていると言われる。  
今年も農家にとって豊作の年でありますように。  
さて、お届けします本号も、読みやすく魅力的な紙面づくりに努めましたので、どうぞご覧ください。  
(玉川邦夫)

編集後記

二週間ごとにやってくる季節、それが二十四節季。十月には寒露と降霜。さらに各家庭独自の農事歴。農作業には欠かせない貴重な情報誌だ。